

地方公共団体名	北海道千歳市
所属部局	市民環境部環境課
担当者名	担当：主査 西河 琢
地域の抱える課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の CO2 排出量は、113 万 t（2020 年度）であり、分野別の内訳をみると産業分野が全体の約 5 割を占めているのに加え、熱由来の温室効果ガス排出量が全体の約 2/3 を占めていることから、産業分野と連携した熱エネルギーの脱炭素化が課題となっている。 ・市が事業者として排出する温室効果ガスは、市内で 2 番目に多くなっており、公共施設の脱炭素化が求められている。 ・令和 3 年度に公用車として電気自動車 1 台を導入したところであるが、公用車への環境配慮自動車の導入拡大が必要となっている。 <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道胆振東部地震のブラックアウトにより、市民生活や企業の産業活動、行政運営などに大きな影響を及ぼしたことを契機に、災害に強いまちづくりを目指したエネルギーの地産地消体制の構築が求められている。 ・本市は交通利便性の良さなどから、多くの企業が立地しているのに加え、世界最先端の半導体工場の立地が決まり、今後、関連企業の立地が期待されており、「脱炭素」と「経済活動」の好循環が生まれ出される環境整備が求

	<p>められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市に所在する支笏湖がゼロカーボンパークに登録され、地域住民、事業者、来訪者が一体となった持続可能な観光地づくりに向けた取組が求められている。
地域のありたい未来	「脱炭素」と「経済活動」が両立し、持続的に発展する地域
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・熱利用の再生可能エネルギーの地産地消 ・市内立地企業と連携した再エネ電力の供給 ・PPA 等の民間活力を活用した市有公共施設や公用車などの脱炭素
企業に求めたい内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス、水素、アンモニア等の次世代エネルギーを活用した熱需要の脱炭素化の取組 ・マイクログリッドの構築等の市内立地企業と連携した工業団地の脱炭素化に向けた取組 ・公用車への環境配慮車の導入と管理システムやカーシェアリングなどの効率的な運用 ・PPA 等の民間活力を活用した市有公共施設への再エネ導入